

Medi-Way 医療通訳者紹介 Vol.7 英語担当 野村さん

◆なぜ医療通訳者になった？

専門分野の通訳の勉強を始めたいと思っていたところ、大阪府主催の医療通訳講座の募集を偶然見つけたのがきっかけです。当時は訓練を受けた医療通訳者が日本には存在しておらず、身内による通訳で誤訳問題が起きていることを知りました。その後深く学ぶうちに、「医療×語学」の面白さにはまりました。好きな英語を通して、お役に立てることがうれしいです。



◆今まで医療通訳に携わってきて一番嬉しかったことは？

長い闘病の末 40代で亡くなられた方のご家族間の通訳をしたことがあります。残された外国人のご主人と日本人ご家族の、言葉に込められた熱量がそのまま伝わる通訳を心掛けました。両者の繋がりがその場で強くなっていくのを実感しました。ご主人は、幸せな時間、愛と尊敬と感謝の意、闘病中のエピソード等心を込めて話されました。1時間半程経ち最後にご主人から「通訳さん、これは全然医療の話ではないのに全て訳してくれて本当にありがとう。おかげで私達は気持ちを通わせる事が出来た」と言われました。悲しい場面でしたが、何とも言えない温かい空気が流れていたことが今でも強く記憶に残っています。

◆より良い通訳をするために心掛けていることは？

患者さんが一番理解しやすい用語で訳出することです。英語の患者さんはネイティブの方より第2、第3言語の方が多く、出身国や社会的・教育的背景によって一人一人英語力が異なります。「高血圧」hypertension → high blood pressure, 「抗凝固剤」anticoagulant → a medicine to prevent blood from clotting 等、必要に応じてよりシンプルな英語を使っています。また、通訳には集中力が必要です。疲れをためないように、時間を見つけて趣味のホットヨガでリフレッシュし心身を整えています。ヨガ歴7年となりました。

ちょっと一言 それって何て言うの？

「保険証を見せてください。」

英語「Please show me your insurance card.」

中国語「请给我看一下保险证。」
(チンゲイウオカ イーシアバオインジョン)

ベトナム語「Xin vui lòng cho tôi xem thẻ bảo hiểm.」
(シングーイロン チョーテイ セム ティ バヒム)

スペイン語「Déjeme ver su tarjeta de seguro de salud.」
(デヘメバルス ヌハータデ セグーロ デ サルツ)

ポルトガル語「Mostre seu cartão de seguro de saúde, por favor.」
(モストレ セウ カルタオン ジ セグーロ ジ サウヂ、
ホル ファウオール)



今月のトピックス

「医療通訳勉強会 - その2」

前回お伝えした勉強会について、通訳者たちはどんな風に感じているか聞いてみました。一番多かったのは当然ながら「勉強になる」ということです。普段は独学で学習している通訳者たちにとって、医療のプロから直接講義を受けられるのは本当に貴重な機会。講義では「難しくついていけない」と感じて繰り返して学習することで、実際に通訳があった時には「あっ、勉強会でやった！」と思える少し落ち着いて対応できるものです。勉強会直後に実際の通訳があり、乳がんの「HER2」や「腋窩リンパ節郭清」といった専門用語を無事クリアできたというケースや、ADHDのような難しい通訳の際に勉強会の解説がとても役に立ったというケースもありました。

他には、同じ言語の通訳者で集まれることが有難いとの声。お互いの訳出チェックだけでなく、情報交換や啓発の意味もあります。また、同じ言語でなくても「同じ医療通訳者として」いろいろ語り合える、そんな大切な機会となっているようです。通訳者は一人で通訳にあたっていますので、「どう対応すればよかったんだろう」「あの表現でよかったのかな」と悩むことも…。勉強会の際に相談したり、他の人の体験を聞いたりして落ち着くこともあるとか。通訳のテクニックだけでなくメンタルの面でも、仲間がいることはお互いにとってとても有意義なようですね。

通訳者と翻訳者って同じ??

通訳者は翻訳もできるんでしょう？という問い掛けがあります。もちろん言語はわかりますが、通訳と翻訳は違うんです。通訳はお話をされる方の間に入って会話を整理して忠実にお伝えします。翻訳は、文書に合わせて正確に文法と単語を選びます。流れる言葉と残る文書。そんなお仕事です。

